

金ヶ瀬地区の人口と世帯数

令和2年10月31日現在(前月比)

人口	3,608 人	(+10)
男性	1,776 人	(+ 5)
女性	1,832 人	(+ 5)
世帯数	1,372 戸	(+ 6)

こんにちは！ 金ヶ瀬公民館です

2020
第340号
12月

金ヶ瀬公民館主催事業

★かながせウオーキング倶楽部

10月25日、第1回「かながせウオーキング倶楽部」が開催されました。「歩いて町を知り、訪ねて歴史を知る」ことをテーマに、企画された事業です。第1回目は金ヶ瀬公民館から、明増寺、大高山神社前、旧奥州街道を通る約6キロの行程を歩きました。



大高山神社にある鉄九輪塔の説明を聞く参加者

★和紙一閑張りランプシェードづくり教室



全3回にかけて、手漉き和紙や紙紐で制作したランプシェード。

明かりを灯すと、和紙を通した暖かい明かりが七色に変化し、ロマンあふれる空間を演出してくれました。



★ガーデニング額ぶちづくり教室

10月15日、22日、29日の3回にかけてガーデニング額ぶちづくり教室が開催されました。例年よりも大きいサイズの額ぶちづくりに挑戦。それぞれ持参した草花や人形を飾りつけ立体感のある世界を楽しみました。



金ヶ瀬公民館の歴史探訪 第7回 国道4号について

5月の第1回金ヶ瀬公民館の歴史探訪で「奥州街道と金ヶ瀬宿」について書かせていただきましたが、その後の奥州街道は国道4号となり、時代と共にバイパスを作るなど姿を変えながら現在に至っています。私の記憶の中では、小学生の頃、金ヶ瀬の南側で「弾丸道路」と呼ばれていたことを思い出します。車がすごい速さで走る様子からそのように呼ばれていたのですが、堤に住んでいる私は川根の桜並木や白石川で水浴びをする時ぐらいいか国道4号を横断することはなく、昭和40年代後半、高校に通学するようになって、国道と沿線の変容を見てきたように思います。

国道4号は、日光街道、奥州街道を継承した「東京都中央区日本橋」から「青森県青森市」に至る一般国道で、総延長は836.4km、大河原町内は約6.2kmあります。昭和12年ごろ、葦神から船迫を通る屈曲、狭隘なルートに変え、船岡から白幡間に新道を開設したことから、終戦後大河原町内の栄町から尾形丁、西原を通る県道が国道になりました。1957年(昭和32年)3月 国道4号線改良工事が始まり、大高山神社から金ヶ瀬の東口まで新道が作られました。1959年(昭和34年)7月10日には国道大河原橋が完成し、昭和34年8月、上川原の柴田農林高校前から中島を経て柴田町の館山下に抜ける新道が建設され、国道4号になりました。その後の車社会の進展から新たな道路が必要になり、昭和46年に柴田バイパスの工事が事業化され、大河原町金ヶ瀬(丑越)から柴田町槻木までの11.9kmの4車線工事は、平成7年9月に完了しました。金ヶ瀬交差点(東新町)から柴田バイパス起点(丑越)までの国道4号の4車線化工事は、広表土地区画整理事業に伴い、平成16年3月に拡幅が完了しています。その後の4車線化の工事は、皆様の記憶にも新しいと思いますが、平成16年度、国道4号の蔵王町向山から大河原町金ヶ瀬(終点)間3.7kmの4車線化工事着手。平成21年9月、金ヶ瀬(終点)から西側の4車線化工事着手。平成23年5月、終点から400m西側の区間が4車線共用開始。平成24年3月、終点から1km西側の区間が4車線共用開始。平成25年3月、終点から蔵王町箆石交差点まで4車線共用開始。平成28年4月、箆石交差点から東北新幹線高架下付近までの区間4車線共用開始。平成30年11月、蔵王工区の残りの区間4車線共用。これにより全区間4車線化が完了しました。

国道4号の歴史の大きな変化を、実際に目撃していたことを改めて認識しました。

◎11月・12月の休館日

11月16日、24日、30日 ・ 12月7日、14日

◎図書室の休館日

土曜日、日曜日、月曜日

令和2年11月13日発行/大河原町金ヶ瀬公民館 TEL52-6635 FAX52-6736